

# たかはま アーカイブ



市では、これまで高浜が歩んできた歴史や人々の記憶を知り、市の有形・無形の資料を整理して後世へ伝えるとともに、今を生きる私たち、そして将来のまちづくりに活かしていくことを目的として、市民の皆さんの協力を得ながら、新たな「高浜市誌」の編さんを進めています。  
タイトルにあるアーカイブとは「記録保管所」という意味です。このコーナーでは、編さん作業の中で掘り起こされた写真や資料などを中心に、まちのこれまでのあゆみや魅力・自慢などを紹介していきます。

「こんなことを知っている!!」「他にもこんなことがあったよ!」といった情報がありましたら、ぜひお寄せください。



▲土管坂沿いに建ち並ぶ登り窯（高浜市立郷土資料館蔵）

## 人びとの記憶に刻まれる、土管のある風景

[青木町・碧海町]



▲現在の土管坂。かつて工場だった場所は宅地に姿を変えている。



▲土管工場の面影が残る

高浜市はかつて、土管の生産がとて盛んなまちでした。明治19（1886）年、高浜の神谷源之助が、常滑で土管屋を営んでいた伊藤清吉という人物と共に、青木町八丁目付近（通称：土管坂）の丘陵を利用して登り窯を築き、土管の製造を始めました。これが高浜市のみならず西三河における土管生産の始まりといわれています。このことから、神谷源之助と伊藤清吉は「三河土管の元祖」といわれています。  
(Y・H)

問合せ先 [いきいき](#) 文化スポーツグループ ☎52-1111（内線330）

### 高浜を愛し、高浜の良さを学んで高浜でたくましく生きる未来市民の育成

「学校」「家庭」「地域」が一体となって子どもたちを育むため、毎月のめざす学習習慣を皆さんと共有します。  
〈めざす年長児〉いろいろなことに興味・関心を持ち、やってみます。  
〈めざす小6生〉友達の考えを大切にし、自分の意見をわかりやすく伝えます。  
〈めざす中3生〉友達の考えを聞いて、自分の考えに生かします。

4月  
前向きに  
取り組む子

高浜市が育てていきたい生活習慣・学習習慣育成プロジェクト

[いきいき](#) 教育センターグループ ☎52-1111（内線311）

LEIA A PÁGINA  
EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語は25ページ

早期配布にご協力ください。